

## 2015年度 第1回入札監視委員会 議事概要

1. 開催日時 : 2015年7月27日(月) 10時00分～11時30分

2. 開催場所 : 新関西国際空港株式会社 会議室

3. 出席者 : 委員3人(全員)

大阪学院大学 教授 南川 諦弘

京都大学 教授 小林 潔司

弁護士 米田 秀実

事務局

常務取締役、調達部長、財務部長、業務監理室長、監査室長

事務局員(2名)

(各審議案件の審議時は、各担当部所長が同席)

### 4. 議題

〈報告案件〉(1) 2015年1月1日～4月30日の契約方式別発注実績について

(2) 指名回避の運用状況について

〈審議案件〉(3) 抽出事案に関する入札及び契約の処理状況について〈審査〉

① 関西国際空港2期地区新旅客ターミナルビル新築工事 (工事/全て)

② 2015～2017年度関西国際空港カートサービス業務 (役務等/一般競争)

③ 2015年度 関西国際空港給排水施設運用・保守管理業務 (役務等/随意契約)

④ 大阪国際空港受配電設備機器更新 (調達) (工事・役務等/全て)

### 5. 審議等の概要

〈報告案件〉

(1) 2015年1月1日～4月30日の契約方式別発注実績について

・対象期間に入札執行した工事案件13件(一般競争方式8件、随意契約方式5件)、  
調査設計/役務/物品調達方式26件(一般競争方式14件、随意契約方式12件)  
の入札執行状況を説明。

(2) 指名回避の運用状況について

・2015年1月1日～4月30日の指名停止業者(8社)の措置状況について  
説明。

〈審議案件〉

(3) 抽出事案(4件)に関する入札及び契約の処理状況について〈審査〉

・各案件について工事概要、業者選定方法、入札経緯、入札結果等を総括的に説明。

① 関西国際空港 2 期地区新旅客ターミナルビル新築工事

[工事/全て]

主な意見・質疑
1. 見積経過が不落随契交渉まで進んでいるが、その理由は？ 2. どのような歩掛単価を採用しているのか？
回答・説明
1. 昨今の建築費・設備費の高騰により、当初想定していた以上に交渉が厳しかった。 2. 当社はいわゆる公共積算単価ではなく、市場調査の上、実勢単価を採用している

② 2015～2017 年度関西国際空港カートサービス業務

[調査設計・役務・物品調達契約/一般競争方式]

主な意見・質疑
1. 総合評価方式であるが、具体的にどのような点で差がついたのか。 2. 応募者が少ないようだが、応募要件を緩和し、さらに競争性を保つべきでは？
回答・説明
1. 価格点、業務評価点ともに差がついた。業務評価点については、特に人員配置の面で差がついた。 2. 今回応募数は少なかったが、前回で多数の応募があり、その際にかんがりのコストダウンを図れたという経緯がある。

③ 2015 年度 関西国際空港給排水施設運用・保守管理業務

[調査設計・役務・物品調達契約/随意契約方式]

主な意見・質疑
1. 競争化は図れないのか。 2. 契約金額は数年ほぼ横ばいだが、コストダウンの取組は行っているか。
回答・説明
1. 原生動物を管理する点で経験的なプロセス管理が求められるということから、業務を熟知・現場に精通している必要があり、競争化は難しい。 2. 削減できるところは行っており、開港当初と比較すると契約金額は下がっている。

④ 大阪国際空港受配電設備機器更新（調達）

[工事・役務等/全て]

主な意見・質疑
1. 落札率が低くなった理由は？
回答・説明
1. 工場製作の調達案件は、メーカー側の努力による金額幅があるため、結果的に競争が働きやすかった。

〈審議結果〉

対象期間（2015年1月～4月末）の入札、契約の執行状況については、適正に処理されているものと認める。

次回の入札監視委員会については、2016年2月に開催予定。

以上